



45th
Anniversary

Tokyo City Philharmonic Orchestra

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

The
338th
Subscription Concert

Fri. 13th Nov. 2020 7:00pm at the Tokyo Opera City Concert Hall

第338回定期演奏会

2020 11/13 金 7:00pm
東京オペラシティ コンサートホール

プログラム

PROGRAM



第338回定期演奏会 The 338th Subscription Concert

2020年11月13日(金)午後7時開演 東京オペラシティ コンサートホール

Fri. 13th Nov. 2020 7:00pm at the Tokyo Opera City Concert Hall

マーラー：交響曲第10番 嬰ヘ長調より 第1楽章 “アダージョ”(約22分)

G.Mahler: Symphony No.10 in F-Sharp Major - I. Adagio

ベルク：演奏会用アリア「ぶどう酒」(約13分)

A.Berg: Der Wein

| | |
|---------------|------------------------|
| I ワインの魂 | DIE SEELE DES WEINES |
| II 愛する者たちのワイン | DER WEIN DER LIEBENDEN |
| III 孤独な男のワイン | DER WEIN DES EINSAMEN |

休憩 *Intermission*

ベートーヴェン：交響曲第2番 二長調 作品36(約35分)

L.v. Beethoven: Symphony No.2 in D Major, Op.36

| | |
|---------------------|---------------------------|
| I アダージョ・アレグロ・コン・ブリオ | Adagio – Allegro con brio |
| II ラルゲット | Larghetto |
| III スケルツォ：アレグロ | Scherzo : Allegro |
| IV アレグロ・モルト | Allegro molto |

指揮(常任指揮者)：高閑 健 *Ken Takaseki, Conductor (Principal Conductor)*

ソプラノ：半田 美和子 *Miwako Handa, Soprano*

コンサートマスター：戸澤 哲夫 *Tetsuo Tozawa, Concertmaster*

主 催：一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興
公益財団法人アフィニス文化財団

※携帯電話、スマートフォン、アラーム付き時計などをお持ちのお客様は、電源をお切りください。

※演奏中の入退場は他のお客様のご迷惑にもなりますのでご遠慮ください。※許可のない写真撮影、録音・録画は固くお断りいたします。

東京シティ・フィルは、1994年から東京シティ・バレエ団と共に東京都江東区と芸術提携を結び、公益財団法人江東区文化コミュニティ財団の協力を得て活動を行っています。「音楽の輪を広げよう！」。東京シティ・フィルは地域の皆さんと一緒に活動します。



プロフィール

PROFILE

高関 健 指揮(常任指揮者)

Ken Takaseki, Conductor (Principal Conductor)

桐朋学園在学中の1977年カラヤン指揮者コンクールジャパンで優勝。ベルリンでカラヤン氏のアシスタントを務め、タンブルウッド音楽祭でもバーンスタイン、小澤征爾らに指導を受けた。国内はもちろん海外への客演も多く、2013年2月と2017年4月にはサンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会を指揮、聴衆や楽員から大絶賛を受けた。オペラでは新国立劇場公演「夕鶴」、大阪カレッジオペラ「ピーター・グライムズ」などで好評を博し、P.ブーレーズ、M.マイスキー、I.パールマンをはじめとする世界的ソリスト、特にM.アルゲリッチからは3回の共演を通じてその演奏を絶賛されるなど、絶大な信頼を得ている。これまでに広島響音楽監督・常任指揮者、新日本フィル正指揮者、大阪センチュリー響常任指揮者、群馬響音楽監督(現在・名誉指揮者)、札幌響正指揮者、京都市響常任首席客演指揮者などを歴任し、現在、東京シティ・フィル常任指揮者、仙台フィルレジデント・コンダクター、静岡響ミュージック・アドバイザー、東京藝術大学音楽学部指揮科教授 兼 藝大フィルハーモニア管弦楽団首席指揮者の任にある。第4回渡辺曉雄音楽基金音楽賞(1996年度)、第10回齋藤秀雄メモリアル基金賞(2011年)、第50回サントリー音楽賞(2018年度)を受賞。2019年3月には、ウラジオストクとサンクトペテルブルグにおいて、『ロシアにおける日本年』の一環として團伊玖磨のオペラ「夕鶴」を指揮、日本とロシアの文化交流に大きな役割を果たした。

twitter.com/KenTakaseki



©Masahide Sato

半田 美和子 ソoprano

Miwako Handa, Soprano

桐朋学園大学、同大研究科修了。二期会オペラスタジオ修了時に最優秀賞及び川崎静子賞、第4回藤沢オペラコンクール第1位及び福永賞受賞。その後ベルリンにて研鑽を積む。『フィガロの結婚』スザンナ役でデビュー以降、数々のオペラに出演。細川俊夫『班女』花子役を日本、イタリアにて初演。2016年にはアジア初演となった細川俊夫作曲、サッシャ・ヴァルツ演出オペラ「松風」にタイトル・ロールで出演し、コンテンポラリーダンサーとともに踊りながら歌うアクロバティックなパフォーマンスで好評を得た。2020年2月、能舞台を活用した新演出・広島初演の「松風」に出演。役柄の内面をも表出させる深い音楽性で聴衆を魅了した。2019年3月、日本外務省・マリイン斯基劇場主催の團伊玖磨『夕鶴』ロシア公演において、主役つう役を全3公演務め、現地の観客から喝采を浴びた。2012年にファーストアルバム Khôra-Niemandsliedをリリース。音楽雑誌等で特選盤に選出された。モーツアルト「レクイエム」、マーラー「交響曲4番」等、宗教曲やコンサートソリストとしても幅広く活躍。ドイツリートやフランス、アメリカ歌曲なども含む多彩なコンサートレパートリーを誇る。

<http://miwako-handa.jp/>



©Goda

プログラム・ノート

PROGRAM NOTES

解説・柴田 克彦 Katsuhiko Shibata

今 回はウィーンの交響的音楽を遡るプログラムとなっている。マーラーは、伝統的な独奏交響曲の終着点を印した作曲家。その最後の作品である交響曲第10番の“アダージョ”では、彼の到達点とさらなる未来が示される。後継筋にあたるベルクの作品は、いわばその進化(変化)形。“調性感を残した12音技法”で書かれたこの曲は、“マーラーの先にある現代音楽への道筋”を示唆している。そして100年以上前に書かれたベートーヴェンの交響曲第2番は、同ジャンルに初めてスケルツオを採用し、古典的な交響曲の1つの完成形を明示した作品。19世紀交響楽の幕開けを告げた同曲の前向きな活力は、沈んだ現世にも元気を与えてくれるに違いない。

グスタフ・マーラー(1860~1911)

交響曲第10番 嬰ヘ長調より 第1楽章 “アダージョ”

長大・壮大な交響曲を9曲(「大地の歌」を含めると10曲)残したオーストリアの作曲家マーラーの遺作。1910年に交響曲第9番を完成了した彼は、すぐに第10番の創作に着手した。それは全5楽章の作品として構想されたが、

体調が悪化したマーラーは1911年5月に死去し、第10番は未完のまま残された。その内、ともかくフルスコアの形で完成されていたのが、この第1楽章“アダージョ”。ゆえにしばしば単独で演奏されている。

ただし素直に世に出たわけではない。マーラーの妻アルマは、第10番の草稿やスケッチ等を公表しないまま保管していたが、1924年に写真版の形で発表し、作曲家クルシェネクに、一応の形をなしていた第1、3楽章の補筆完成を依頼。それは同年、フランツ・シャルク指揮／ウィーン・フィルによって初演された。さらにその後イギリスの音楽学者デリック・クックが全曲の完成版を作成。かような作業には他に様々な人物や過程が絡んでいるのだが、何はともあれこうして曲が認知されるようになった。

第10番が書かれていたのは、妻アルマと建築家グロピウスとの不倫、財政状態の逼迫、マーラー自身の健康問題等が重なった時期にあたる。さらにはベートーヴェン以下“第9交響曲で人生が終わるジンクス”への恐怖もあり、これらの事情が曲に反映されているとの見方もなってきた。眞実はさておき、心身とも安らかならぬ時に書かれたのは確か。死との関係性が取り沙汰される第9番の終楽章のアダージョを継承したこの緩徐楽章で交響曲を開始している点が異例でもある。

第1楽章“アダージョ”は、抒情的・官能的な音楽に、晩年のマーラーの厭世観が交錯している。また調性の曖昧さも際立ち、特に後半の、9つの音が同時に強奏される凄まじい不協和音と、トランペットのA音(イ音。アルマのAでもある)が持続される部分は、現代音楽を思わせる。

曲は、ヴィオラのみが主題を奏するアンダンテ部分で開始。この序奏的な楽想は、主部にも数回插入され、変奏もなされる。主部のアダージョは、上下行する甘美な主題に細かな動きの旋律等が絡みながら、綿々と続していく。そして前記の不協和音を中心としたクライマックスが形成され、静けさが戻って終結する。

■楽器編成

フルート3(ピッコロ持ち替え)、
オーボエ3、クラリネット3、ファゴット3、
ホルン4、トランペット4、トロンボーン3、
チューバ、ハープ、弦5部

アルバン・ベルク(1885～1935)

演奏会用アリア「ぶどう酒」

現代音楽への橋渡しを成したウィーン生まれの作曲家ベルクによる、オーケストラ付きの単独アリア。代表作となった歌劇「ヴォツェック」(1922)の7年後にあたる1929年、歌劇「ルル」の構想中に、ウィーンのソプラノ歌手、ルツェナ・ヘルリンガーの依頼で作曲され、翌30年ケニヒスベルクにて彼女の独唱で初演された。

ここでベルクは、フランスの詩人ボードレールの「悪の華」に収められた「ぶどう酒」全5篇(の独訳)から3篇を選び、順番を変えてひと続きの演奏会用アリアに仕立てている。曲は12音技法(主題等に12の半音全てが用いられた音楽)で書かれているが、調性的な要素が織り込まれている点がベルクの特徴であり、それが独特的な美しさや官能性をもたらしてもいる。

内容はワインにまつわる人間の苦しみや喜びを凝縮した音楽。3つの詩がA-B-A'の形で登場する。長めのオーケストラの序奏に続いてAにあたる「ワインの魂」が歌われ、ワインの様々な作用や役割が語られる。ここには2つの主題が登場。2つ目の主題はタンゴのリズムに拠っており、サクソフォンの響きも印象を強める。クライマックスに達すると、B部分にあたる「愛する者たちのワイン」に移行。恋人たちが飲むワインが歌われ、白熱の度合いを増していく。やがて静かになり、神秘的な間奏部分へ。最後に「孤独な男のワイン」がA同様のトーンで歌われ、表情豊かな後奏で締めくられる。

■楽器編成

ソプラノ独唱、フルート2(2ピッコロ持ち替え)、
オーボエ2(イングリッシュホルン持ち替え)、
クラリネット2、バスクラリネット、ファゴット2、
コントラファゴット、アルト・サックス、ホルン4、
トランペット2、トロンボーン2、チューバ、
ティンパニ、ハープ、ピアノ、スネアドラム、
バスドラム、シンバル、トライアングル、
タンバリン、タム・タム(高音・低音)、
グロッケンシュピール、弦5部

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
(1770～1827)

交響曲第2番 二長調 作品36

1800年に交響曲第1番を完成し初演したベートーヴェンが、その延長線上で生み出した交響曲。1800年から徐々にスケッチが進められ、1802年4～10月、ウィーン郊外のハイリゲンシュタットで本格的に作曲後、10月中旬にウィーンへ戻って完成、1803年4月の自主演奏会で初演された。1802年10月といえば、かの「ハイリゲンシュタットの遺書」が書かれた時期。耳の病気の悪化が顕著になり、「月光」ソナタを捧げたジュリエッタ・グイッチャルディとの失恋も重なった頃の作だが、曲自体は、明るい二長調を基調とした、エネルギッシュで前向きな音楽となっている。

第1番と同じ2管編成で同タイプの造作ながら、ベートーヴェンはここで一段の進化をみせる。第1楽章の序奏はより長大かつ劇的になり、第2楽章はいっそロマンティックな情緒を漂わせる。そして第3楽章に交響曲史上初めてスケルツォを採用。また管楽器、特にクラリネットの活用が際立ち、従来は同一パートを弾いていたチェロとコントラバスの分離も試みられている。

第1楽章……アダージョー・アレグロ・コン・ブリオ。序奏は短調への揺らぎをみせる緊張感を帯びた音楽。主部は、軽快な第1主題と進行曲風の第2主題を軸に、フレッシュな力感を湛えながら突き進んでいく。

第2楽章……ラルゲット。流麗で優美なイ長調の緩徐楽章。2つの主題を弦楽器が呈示し、第1主題を主体に美しく進行する。木管楽器の精妙な用法も効果を發揮。

第3楽章……スケルツォ、アレグロ。交響曲で「スケルツォ」と表記された初の楽章。強弱が対照されるダイナミックな主部に、柔らかさと激しさが同居した中間部が挟まる。

第4楽章……アレグロ・モルト。エネルギーに充ちたフィナーレ。前打音が鋭い第1主題と下行音型の第2主題を軸に、劇的な高揚を遂げる。

■楽器編成

フルート2、オーボエ2、クラリネット2、
ファゴット2、ホルン2、トランペット2、
ティンバニ、弦5部

柴田 克彦(しばた かつひこ)

音楽マネージメント勤務を経て、フリーランスの音楽ライター、評論家、編集者となる。「ぶらあぼ」「モーストリー・クラシック」等の雑誌、公演プログラム、宣伝媒体、CDブックレットへの寄稿、プログラム等の編集業務、講演や講座など、幅広く活動中。著書に「山本直純と小澤征爾」(朝日新書)。

アルバン・ベルク：演奏会用アリア「ぶどう酒」

Alban Berg: "Der Wein"

ドイツ語テキスト：シュテファン・ゲオルグ／シャルル＝ピエール・ボードレールの詩をもとに

Deutsche Texte von Stefan George nach Gedichte von Charles - Pierre Baudelaire

歌詞対訳：三ヶ尻 正(みかじり ただし)・音楽学

DIE SEELE DES WEINES

Des Weines Geist begann im Faß zu singen:
"Mensch, teurer Ausgestoßener, dir soll
Durch meinen engen Kerker durch erklingen
Ein Lied von Licht und Bruderliebe voll !

Ich weiß: am sengend heißen Bergeshange
Bei Schweiß und Mühe nur gedeih' ich recht.
Da meine Seele ich nur so empfange;
Doch bin ich niemals undankbar und schlecht.

Und dies bereitet mir die größte Labe:
Wenn eines Arbeitmatten Mund mich hält;
Sein heißer Schlund wird mir zum kühlen Grabe,
Das mehr als kalte Keller mir gefällt.

Hörst du den Sonntagssang aus frohem Schwarme?
Nun kehrt die Hoffnung prickelnd in mich ein:
Du stülpst die Ärmel, stützest beide Arme,
Du wirst mich preisen und zufrieden sein.

Ich mache deines Weibes Augen heiter,
Und deinem Sohne leih' ich frische Kraft;
Ich bin für diesen zarten Lebensstreiter
Das Öl, das Fechtern die Gewandtheit schafft.

Und du erhältst von diesem Pflanzenseime
Den Gott, der ewige Sämann, niedergießt,
Damit in deiner Brust die Dichtkunst keime,
Die wie ein seltner Baum zum Himmel sprießt."

ワインの魂

ワインの精が樽の中で歌い始めた：
『人よ、親愛なる、追放された者よ、
私の狭い牢獄から君に
光と兄弟愛に満ちた歌を響かせよう。

私は知っている：私がよく育つのは
焦げるほど暑い山の斜面での汗と労苦の結果だ。
私が私の魂を得るにはそこでそうするしかない。
それでも私は恩知らずにも悪者にもなりはしない。

私にとって最大の慰めはこれだ。すなわち
仕事に疲れた口が私を含めば
その熱いノドが私にとって涼しい墓となること。
冷たい貯蔵庫より私はずっと好きだ。

楽しげな群れから日曜の歌声が聞こえるか？
すると私の中に希望が泡となって沸き立つ。
君は袖をまくって両肘をついて
私のことを讃えてご満悦となるだろう。

私は君の奥さんの目を明るくし
君の息子に新たな力を授ける。
このかよわい人生の競技者にとって
選手に力を与える香油となる。

そして永遠に種を蒔き続ける神が絞り出す
この植物からできた蜜を君は飲む。
そして君の胸に詩の力が芽生え、それが
類いまれな木のように天まで伸びるだろう。』

DER WEIN DER LIEBENDEN

Prächtig ist heute die Weite,
(Strange und Sporen beiseite !)
Reiten wir auf dem Wein
In den Feeenhimmel hinein !

Engel für ewige Dauer
Leidend im Fieberschauer,
Durch des Morgens blauen Krystall
Fort in das leuchtende All !

Wir lehnern uns weich auf den Flügel
Des Windes, der eilt ohne Zügel.
Beide voll gleicher Lust

Laß Schwester uns Brust an Brust
Fliehn ohne Rast und Stand
In meiner Träume Land !

DER WEIN DES EINSAMEN

Der sonderbare Blick der leichten Frauen,
Der auf uns gleitet wie das weiße Licht
Des Mondes auf bewegter Wasserschicht
Will er im Bade seine Schönheit schauen.

Der letzte Taler auf dem Spielertisch,
Ein frecher Kuß der hagern Adeline,
Erschlaffenden Gesang der Violine,
Der wie der Menschheit fernes Qualgezisch:

Mehr als dies alles schät' ich, tiefe Flasche,
Den starken Balsam, den ich aus dir nasche
Und der des frommen Dichters Müdheit bannt.

Du gibst ihm Hoffnung, Liebe, Jugendkraft
Und Stolz - dies Erbteil aller Bettlerschaft,
Der uns zu Helden macht und gottverwandt.

愛する者たちのワイン
今日は見渡す限り輝かしい。
(手綱も拍車もなしで !)
私たちはワインに乗って
妖精たちの天へと昇って行こう !

降り注ぐ熱の雨に
永遠にうなされた天使たちのように
この朝の青い水晶の空を通り抜けて
光り輝く万物の世界へ入って行こう !

私たちは、二人とも等しく喜びに満ちて
手綱に縛られることもなく急ぐ風の翼の上に
柔らかに身を横たえる。

妹よ、胸と胸を合わせて
休むことも立ち止まることもなく
私の夢の国に逃げて行こう !

孤独な男のワイン

軽い女たちのあやしげなまなざし。
まるで月が、波打つ水面に入水して
自分の美しさを見せびらかそうとしているときの
白い明りのよう私たちの上を滑って行くまなざし。

ギャンブルのテーブルに残った最後の1ターラー^{*}
痩せたアデリーネの唐突なキス、【金銭の単位】
遠くに聞こえる人類の苦悩の息漏れのような
ヴァイオリンの馳みきった歌。

深淵なるボトルよ、こうしたものすべてよりも、
私が君から味わい、詩人の憂いを晴らして喜ばせる、
その力強い香油を私は大切に思う。

君は詩人に希望を、愛を、若き力を、そして誇りを授ける。
その誇り、あらゆる貧しさの遺産であるこの誇りが
私たちを英雄にもし、神と結び付けてくれるのだ。

■ 2020-2021 シーズンプログラム

定期演奏会、ティアラこうとう定期演奏会を合わせて残り5公演となり、今年度も折り返しに差し掛かりました。引き続き、豪華な出演者と聴きごたえのあるプログラムで皆様にお届けしてまいりますので、どうぞご期待ください。詳細は下記をご覧ください。

※出演者・曲目等は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

定期演奏会

ワインター

会場：サントリーホール 大ホール

第339回

2021
1/29
金 7:00pm

©山田 稔

指揮：飯守 泰次郎
ピアノ：亀井 聖矢モーツアルト／歌劇「劇場支配人」K.486より 序曲
ショパン／ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 作品11
チャイコフスキー／交響曲第5番 ホ短調 作品64

第340回

2021
2/13
土 2:00pm

© Shin Yamagishi

指揮：藤岡 幸夫
サクソфон：須川 展也
合唱：東京シティ・フィル・コーラ
(合唱指揮：藤丸 崇浩)ウォルトン／「スピットファイア」より 前奏曲とフーガ
菅野祐悟／サクソfon協奏曲
(仮題・須川展也委嘱作品・世界初演)
ホルスト／組曲「惑星」作品32

第341回

2021
3/26
金 7:00pm

©StasLevshin

指揮：高関 健

※曲目は調整中です。詳細は決まり次第、
改めてホームページにてお知らせいたします。

ティアラこうとう定期演奏会

会場：ティアラこうとう（江東公会堂）大ホール

ティアラこうとう

第63回

2021
2/20
土 3:00pm

©Yves Petit

指揮：沖澤 のどか
ピアノ：金子 三勇士モーツアルト／交響曲第40番 ホ短調 K.550
リスト／ピアノ協奏曲第2番 ホ長調
リヒャルト・シュトラウス／交響詩「死と変容」作品24

第64回
2021
3/6
土 3:00pm

指揮:広上 淳一
ヴァイオリン:小林 美樹

ドヴォルザーク/交響詩「真昼の魔女」作品108
ドヴォルザーク/ヴァイオリン協奏曲 イ短調 作品53
ドヴォルザーク/交響曲第7番 ニ短調 作品70



©Ayako Yamamoto ©Shigeto Imura

定期演奏会チケット

シーズンセット券

S席¥12,600 A席¥10,500 B席¥8,400 C席¥6,300
プラチナS席¥9,450 プラチナA席¥7,350 (60歳以上)

1公演券

S席¥6,000 A席¥5,000 B席¥4,000 C席¥3,000
プラチナS席¥4,500 プラチナA席¥3,500 (60歳以上)
U20(小学生~20歳、座席指定不可)¥1,000 U30(21歳~30歳、座席指定不可)¥2,000
【江東区民割引 S席~C席 各¥200割引】

シーズンセット券/1公演券発売日 ウィンター ■会員先行発売 2020 8/25(火) ■一般発売 2020 9/10(木)

ティアラこうとう定期演奏会チケット

1公演券

S席¥3,500 A席¥3,000 B席¥2,500
U20(小学生~20歳、座席指定不可)¥1,000 U30(21歳~30歳、座席指定不可)¥1,500
【江東区民割引 S席~B席 各¥200割引】

1公演券発売日

第63・64回 ■会員先行発売 2020 8/25(火) ■一般発売 2020 9/10(木)

お申し込み
お問い合わせ

東京シティ・フィルチケットサービス
TEL: 03-5624-4002 (月・水・金10:00~15:00)
URL: <https://www.cityphil.jp/> ※ご利用には会員登録が必要です。(無料)



 2021-2022
シーズンプログラム
開催日程のお知らせ



©K.Miura

10月27日に、2021-2022シーズンの開催日程を公式ホームページにて発表いたしました!
出演者・曲目については、後日改めてお知らせいたします。

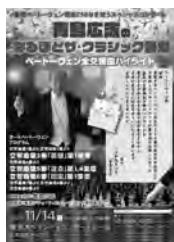
また、定期会員券のご継続方法やご案内の時期などにつきましても改めてホームページにて
お知らせいたします。

詳細は下記URLまでアクセス、または右記の二次元コードを読み取っていただきご覧ください。
■ <https://www.cityphil.jp/news/detail.php?id=243>



■今後の公演情報

◀楽団出演公演▶



青島広志のなるほどザ・クラシック音楽

※4月5日、6月14日振替公演

11.14[土]14:00開演

東京オペラシティ コンサートホール

指揮・お話 青島 広志

出演 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団(管弦楽)

曲目 ～オール ベートーヴェン プログラム～

交響曲第1番より ほか

お問い合わせ 東京シティ・フィル チケットサービス 03-5624-4002

(月・水・金10:00～15:00)

◀楽団出演公演▶



東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 名曲コンサート

11.28[土]16:30開演

入間市市民会館

指揮 三ツ橋 敬子

出演 辻 彩奈(ヴァイオリン)

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団(管弦楽)

曲目 モーツアルト:歌劇「フィガロの結婚」序曲

シベリウス:ヴァイオリン協奏曲

ベートーヴェン:交響曲第3番「英雄」

お問い合わせ 入間市市民会館 04-2964-2411

◀楽団出演公演▶



ガーデングループ Presents

第5回オペラ歌手紅白対抗歌合戦～声魂真剣勝負～

12.4[金]18:30開演

サントリーホール 大ホール

指揮 山下 一史(白組) / 松尾 葉子(紅組)

出演 腰越 満美(ソプラノ) / 林 美智子(メゾ・ソプラノ)

笛田 博昭(テノール) / 大西 宇宙(バリトン)

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団(管弦楽) ほか

曲目 ※決まり次第、主催者ホームページにて発表を予定しております。

<http://operaconcert.net/>

お問い合わせ ヴォートル・チケットセンター 03-5355-1280

(平日10:00～18:00)

◀ 楽団出演公演 ▶



明日を担う音楽家たち2020

～新進芸術家海外研修制度の成果～

12.7 [月] 19:00 開演 東京オペラシティ コンサートホール

指揮 高関 健(弊団常任指揮者)

出演 菅沼 希望(コントラバス) / 猶井 悠樹(ヴァイオリン) / 石井 楓子(ピアノ)
加藤 大樹(ピアノ) / 松木 亜希(弊団首席トランペット奏者)

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団(管弦楽)

曲目 ポッテジーニ:コントラバス協奏曲第2番 口短調
ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 作品26
ショスタコーヴィチ:ピアノ協奏曲第1番 ハ短調 作品35
シューマン:ピアノ協奏曲 イ短調 作品54

お問い合わせ 東京オペラシティ チケットセンター 03-5353-9999

◀ 楽団出演公演 ▶



東京バレエ団

「くるみ割り人形」全2幕

12.11 [金] 19:00 開演 / 12 [土] 14:00 開演 / 13 [日] 14:00 開演**東京文化会館 大ホール**

指揮 磯部 省吾

出演 沖 香菜子 / 秋山 瑛 / 金子 仁美(マーシャ)
秋元 康臣 / 宮川 新大 / 池本 祥真(くるみ割り王子)
NHK東京児童合唱団(児童合唱)
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団(管弦楽) ほか

お問い合わせ NBSチケットセンター 03-3791-8888

■ その他のお知らせ

入団情報 楽団員1名が入団いたしました

◆ ヴィオラ奏者 落合 なづき【おちあい・なづき】(10月14日付)

この度、ヴィオラトゥッティ奏者として入団いたしました落合なづきと申します。初めてプロオーケストラで弾かせて頂いたのがシティ・フィルでした。普段はあたたかく、演奏するときは情熱的なシティ・フィルの一員となれたことをとても嬉しく思います。楽曲から伝わってくる、言葉にできないさまざまな思いをお客様と分かち合えるような奏者を目指し、日々努めて参ります。これからどうぞよろしくお願ひいたします。

SmileStyle Studio
Photo: Hair and Makeup

東京シティ・フィル楽団員がゆく 海外留学記

目等貴士

留学を決めた理由やきっかけ

ドイツ最南端に位置する、国内有数の美しい街フライブルク。私がこの街を留学先に選んだのは、フライブルク音楽大学にてバーゼル交響楽団ティンパニ奏者の宮崎泰二郎先生のもとティンパニを勉強することが目的でした。

宮崎先生は日本で年2回のレッスン会を開催されており、私も学生時代から度々お世話になっていました。レッスンを受講する中で「先生がオーケストラの中で演奏している姿を直接見て勉強したい」という思いが強まつたことが留学を決意するきっかけになりました。



バーゼルにて宮崎先生と

留学先での生活

- 7:30 起床、体操＆ストレッチ、コーヒーを飲むなど
- 10:00 練習開始
- 13:00 昼食
- 18:00 練習終了、帰宅
- 19:00 夕食
- 20:00 曲の勉強、読書、ビールを飲むなど
- 23:30 就寝

朝起きるとまず体操とストレッチをするのが私のルーティンです。身体を目覚めさせてからゆっくりコーヒーを飲み、学校へ行く支度をします。

大学へは基本的に徒歩で30分ほどかけて通つ



昨年の夏から1年間、公益財団法人アフィニス文化財団2019年度海外研修員としてドイツのフライブルクへ海外留学をしていた首席ティンパニ奏者の目等貴士へインタビューしました！現地での留学生活をどのように過ごしていたのか、写真付きでリポートします！

ていました。美しい旧市街を通り抜け、川沿いの自然を楽しみながら歩くのはとても気持ちが良いものです。雨が降っていたり、くたびれているときは路面電車を利用するのも楽しみの1つでした。

ティンパニや打楽器は音量が大きく身体にも負荷がかかるので、コンディションを保つために1日におよそ5～6時間を目安として練習していました。

練習が終わった後も大学に残り、譜面を読んだりインターネットで演奏会やオペラを視聴したりとまさに音楽漬けの毎日でした。

帰宅後は読書をしたり譜面を読んだりしながらいろいろなブランドのビールを飲み比べするのが日課でした。



たまには友人たちと飲みに行ったりも

留学先でのレッスンについて、師事された先生のことや、思い出深いこと

私が留学した2019～2020年は、宮崎先生にとってバーゼル交響楽団を定年退職される前の最後のシーズンでした。フライブルクから電車に乗っておよそ40分、度々バーゼルまで出かけて先生の演奏を生で聴くことができたのは本当に幸運だったと思います。オペラやバレエの本番をオーケストラピットの中(先生が演奏する真後ろ!)で聴かせてもらったことは一生ものの財産になつたと思っています。

レッスンは徹底した基礎トレーニングとともに

に、ドイツ音楽を中心とした主要な管弦楽作品を網羅する充実したものでした。最初の半年間ではベートーヴェンとモーツアルト、次の学期にはシューマン・ブラームス・チャイコフスキイ・ドヴォルザーク・シベリウスの作品に集中して取り組み、音色やリズムを磨き上げるプロセス、ドイツ音楽特有の歌いまわしや新旧テクニックの比較など多岐にわたる内容を学ぶことができました。

僕が所属したフライブルク音楽大学の打楽器クラスは、ドイツ人の他にフランス・スペイン・ノルウェー・フィンランド・カナダ・コロンビア・ベネズエラ・中国・台湾・韓国・日本からの留学生と一緒に勉強している非常に国際色豊かなクラスでした。それぞれの考え方や文化の違いを知ることはとても面白く、日本人としての自分の性質や振る舞いを見つめ直すことも繋がりました。

オーケストラや室内楽の授業に参加したり、時にはアマチュアオーケストラの賛助に呼んで頂いたりして友人たちと一緒に演奏したのは良い思い出です。



学生オーケストラの演奏会終了後、共演した友人たち&宮崎先生と

コロナ禍での留学となり、 大変だったことや苦労したこと、 また留学先のドイツの様子など

2020年3月16日、感染症拡大防止のためフライブルク音楽大学は大学施設の完全閉鎖を発表しました。

これを受けて、私は急遽3月17日の便で日本へ一時帰国することにしました。大学施設が使えないことは、ティンパニの練習が全くできないのです。この期間中は日本の自宅で小太鼓の技術を高めることに専念しました。

帰国はスムーズにできたのですが、大変だったのは日本からドイツに再渡航するときでした。

何度もキャンセルになる飛行機、入国管理局から求められる大量の書類…準備を整えて成田空港まで行ったのに飛行機へ搭乗させてもらえない



かったときは流石に堪えました。精神的にも苦しい日々でしたが、いろいろ方に助けて頂きなんとか5月の中旬にフライブルクへ戻っていました。

(ちなみに揃えた書類は結局一度も誰にも見せたり提出したりすることはありませんでした)

幸いなことに、フライブルクへ戻ってからは隔離措置が免除され、すぐに練習を再開することができました。

レッスンもはじめはオンラインのみでしたが、ホールを使用したマスタークラス形式を経て少しずつ通常通りの対面式レッスンを受けられるようになってきました。

あらゆるコンサートが中止になり、計画していた演奏会行脚ができなくなってしまったことは本当に残念でしたが、その分個人練習やレッスンに多くの時間を割くことができたため研修内容としては満足いくものになったと感じています。

2020年5月時点のフライブルクでは電車に乗るときや買い物をするときなど屋内に入るときのみマスクを着用すればよく、概ね通常通りの生活が戻ってきているという印象でした。日本に一時帰国していた当時は外へ出ることすら憚られるような強い閉塞感を感じていたこともあり、改めてヨーロッパの人々とのメンタリティの違いを意識することになりました。



コロナ後のマスタークラス形式レッスン
(アクリル板使用)の様子

お客様へのメッセージや今後の抱負

1年間学んできたことをシティ・フィルの中で実践できるのは本当に幸せなことです。今までとは一味違う響きをお楽しみ頂けると思いますので、是非これからも演奏会へ足をお運び下さい。ご来場を心よりお待ちしております!

コンサート・リポート

CONCERT REPORT

今回は、10月16日に開催いたしました第337回定期演奏会の模様をお伝えいたします。本番では見られない出演者たちの表情もどうぞご覧ください。



第337回定期演奏会

(2020.10.16[金] 会場:東京オペラシティ コンサートホール)

先月16日に開催した第337回定期演奏会では、東京シティ・フィルの定期演奏会では初となる沼尻竜典マエストロ指揮のもと、芥川とラフマニノフのプログラムでお贈りいただきました。そして、ソリストには当初出演を予定していたアンドレイ・コロベイニコフ氏に代わり、ピアニストの小山実稚恵氏に急きょご出演いただけたことになり、ラフマニノフの名曲、ピアノ協奏曲第2番を披露していただきました。メインプログラムにはラフマニノフの最後の作品である交響的舞曲を演奏し、お客様のあたたかい拍手のなか終演いたしました。

指揮:沼尻 竜典 ピアノ:小山 実稚恵

曲目:芥川也志/交響管弦楽のための音楽

ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 作品18

ラフマニノフ/交響的舞曲 作品45



本番前のゲネプロ風景





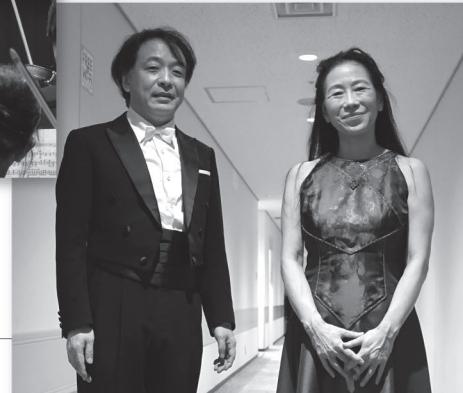
本番スタート!
1曲目の芥川也寸志
「交響管弦楽のための音楽」を
演奏するオーケストラ



続いて、ピアニスト小山実稚恵氏との
ラフマニノフ「ピアノ協奏曲第2番」



沼尻マエストロと
小山実稚恵氏



本番後、楽屋前にて記念撮影!



後半はメインプログラムのラフマニノフ「交響的舞曲」



ソロを演奏する
コンサートマスター戸澤哲夫



首席トロンボーン奏者 佐藤洋樹

ご紹介した公演以外にも東京シティ・フィルの公演にご来場くださった皆様、ありがとうございました。今後もたくさんのお客様のご来場をお待ちしております!

皆さまからのメッセージ

～第337回定期演奏会アンケートより(2020.10.16)～



沼尻さんとは初共演だと思いますが、
豊麗とさえ言えるゴージャスな響きには驚きました。
留学から帰国した首席の方々が皆揃い、
益々充実したシティ・フィルを嬉しく聞きました。
小山さんの男勝りの芯の通ったピアノも
ラフマニノフにピッタリでした。
沼尻さん、またの客演を心待ちにしています。

芥川を聴いて一言、オーケストラが上手い!
木・金管の安定して質の高い演奏、
弦楽器の音の充実度。
重厚感の溢れるラフマニノフ、
特にヴィオラ・パートの熱演に感動!

一曲目の「交響管弦楽のための音楽」から
コロナ禍の暗い世の中を忘れさせてくれた。
生の音楽がどれだけ心を
癒してくれる必要なものなのか!
交響的舞曲は沼尻さんの
しっかりした構築美と熱いオケの相乗効果で
この曲自体の完成度を上回る名演でした。
他のオケが代役指揮者に苦しんでいた中、
盤石な日本人指揮者を配している
シティ・フィルの今後の演奏を楽しみにしています。
今日もありがとうございました!

本当に素晴らしい体験をさせていただき、
感謝の気持ちしかありません。
沼尻さんの指揮は初めてで、
さすがオペラの経験が長くいらっしゃる、
歌があふれ出ているような指揮にただただ見とれました。
その指揮に、オーケストラの皆様も全身全霊で
応えていらっしゃったように思います。
また、戸澤コンマスのソロも本当に素晴らしくて、
戸澤さんのソロや室内楽のコンサートがあったら、
ぜひ行ってみたいと思いました。

シティ・フィルさんの
演奏会は初めてですが、
一曲目の芥川也寸志で
心を掴まれました。
一糸乱れぬ奏者間の呼吸が
ひしひしと伝わってくる
気迫の籠った演奏で、
最後まで楽しむことができました。

大好きな曲(交響的舞曲)の演奏、
しかもシティ・フィルということで
聞き逃せない演奏会でした。
(予定通り開催されたことが
まずうれしかったです)
想像以上の熱演と圧巻の表現で、
会場中が最後の銅鑼の音とともに
一体となった感があり、
とても素晴らしい時間を過ごせました。
この曲の醍醐味を味わえて満足です!

芥川の作品を生で
聴くことができ感激しました。
また、ラフマニノフの晩年の作品に
触ることで、これまでの
ラフマニノフ像が変わりました。
若い頃の作品だけで判断を
止めるべきではないですね!

実はシティ・フィルは初めてで、
びわ湖の沼尻さんが
珍しくラフマニノフを振るので
期待して聴きました。
結果、期待以上の演奏で
シティ・フィルもこれから
聴いてみたいと思いました。

今後より良い演奏活動のための参考とさせていただきます。アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

■ 賛助会・維持会の皆様

特別賛助会員

NECソリューションイノベータ株式会社

一般社団法人全国スーパーマーケット協会

専務理事 三浦 正樹

株式会社竹中工務店

東京ペインネットワーク株式会社

代表取締役会長 平田 和俊

日本電波工業株式会社

代表取締役会長 竹内 敏晃

株式会社ベストライフ

代表取締役 宗次 直美

株式会社森ビル

代表取締役 森 雅克

有限会社金子樋包

賛助会員

石井 一美

医療法人 石川内科循環器クリニック

川名 幾子

黒田 紗穂里

高森 啓至

デヴィスカルノ

東京トリキン株式会社

株式会社日本旅行 公務法人営業部

餅 一二

山崎 比奈代

山崎 美彌子

匿名1名

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 ご支援のお願い

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団では、皆様により近く親しみのもてるオーケストラでありますと願い、会員制度を設けております。会員の皆様にはチケットの優先販売や交流会へのご参加など、各種特典をご用意しております。楽団のさらなる発展と充実した演奏活動が、皆様の心豊かな生活の一助となるよう日々研鑽しております。

多くの皆様のご支援とご入会を賜りますようお願い申し上げます。

年会費

特別賛助会員

1口 300,000円(1口より)

賛助会員

1口 100,000円(1口より)

特別維持会員

1口 30,000円(1口より)

維持会員

1口 10,000円(1口より)

会員特典

●東京シティ・フィルの定期演奏会にご招待させていただきます。

特別賛助会員 1口につき毎回2席

○定期演奏会プログラムに御芳名を記載させていただきます。

賛助会員 1口につき毎回1席

○東京シティ・フィル主催演奏会のチケットを一般発売に先がけて会員優待価格でご提供致します。

特別維持会員 1口につき年間3席(ご希望の演奏会)

○指揮者・楽団員との交流会や、さまざまな特別イベントにご参加ください。

維持会員 1口につき年間1席(ご希望の演奏会)

期間

年会費納入より1年間とさせていただきます。

入会申込は隨時お受けいたします。

お申し込み方法

東京シティ・フィル事務局(TEL:03-5624-4001)まで入会申込用紙をご請求ください。申込用紙は本日、会場1F主催者カウンターにもご用意致しております。

特別維持会員

| | | | |
|--------|-----------|------------|--------------|
| 新井 浄 | 社会保険労務士法人 | 團野 加奈子 | 室町 泰史 |
| 飯守 比佐子 | 川口人事労務総研 | 徳田 竜一 | 矢口 敦則 |
| 石川 高 | 桐野 健智 | 戸澤 義夫 | 山本 憲之 |
| 石橋 友佳子 | 久保 勝義 | 中原 正紀 | 横澤 君江 |
| 上杉 憲幸 | 栗原 寛 | ナチュロ アロマチカ | 吉川 具美 |
| 白井 潤 | 榎原 裕理子 | 羽生 恭子 | 行政書士法人 |
| 唸声 | 佐久間 真一 | 羽生 正治 | ラルゴワーキングサポート |
| 江間 博美 | 笛木 美紀子 | 福田 昭夫 | K. H. |
| 大城 周 | 佐藤 元紀 | 前島 正幸 | KSS |
| 小畠 佐知子 | 新藤 久典 | 間宮 大輔 | M.S.K. |
| 加藤 久詞 | 新藤 緑 | 三浦 紀章 | T. S. |
| 加藤 典子 | 鈴木 昭雄 | 宗次 徳二 | 匿名1名 |
| | 竹田 忍 | 村田 富子 | |

維持会員

| | | | | |
|--------|---------|--------|--------|------------|
| 秋山 邦彦 | 小松 幸生 | 武井 丈夫 | 福田 丈雄 | 渡辺 和也 |
| 安宅 久憲 | 坂下 道朗 | 竹内 直人 | 藤原 和水 | 渡部 淳士 |
| 綾部 輝幸 | 佐々木 伸太郎 | 武田 栄子 | 法橋 健 | FYL |
| 安藤 祥介 | 笛島 久美子 | 竹中 まゆみ | 堀 麗子 | H. K. |
| 石川 英利 | 佐藤 一彦 | 竹谷 百代 | 前田 直也 | H. M. |
| 五十畠 弘子 | 三瓶 裕之 | 土田 友子 | 松浦 理恵 | H. Toyoshi |
| 内田 誠 | 宍戸 雅之 | 戸田 栄克 | 松谷 英子 | IZUMI.S. |
| 大塚 教哲 | 瀧谷 直衛 | 戸田 律子 | 松本 麻美 | KEIKO N. |
| 大西 幸恵 | 定塚 奈穂子 | 友光 功久 | 水上 典子 | M. U. |
| 小川 賢一 | 甚野 謙 | 外山 一行 | 蓑田 幸男 | M. Y. |
| 荻 悅子 | 須川 拓也 | 中村 治子 | 目黒 裕一 | Makiko.K |
| 尾花 文子 | 鈴木 孝幸 | 永妻 幸子 | 森 裕美 | S.Kikuchi |
| 葛城 伸一 | 鈴木 太郎 | 西 忠彦 | 森重 玲子 | S. S. |
| 金谷 伸一 | 鈴木 勇一 | 庭野 隆之 | 柳瀬 友則 | S. Y. |
| 狩野 葉子 | 鈴木 康介 | 沼田 英一 | 山口 健一 | T. Mitsuya |
| 紙子 陽子 | 須藤 和久 | 橋本 一史 | 山崎 由美子 | T. S. |
| 川崎 善功 | 須藤 隆弘 | 原田 奈美 | 山本 由貴子 | Y. H. |
| 木村 祥子 | 関屋 幸恵 | 平賀 隆之 | 吉田 尤子 | Y. T. |
| 木村 知可子 | 宗万 秀和 | ピロッタ真緒 | 余野 さくら | 匿名6名 |
| 久野 伸江 | 高倉 淳 | 福澤 博子 | 我妻 尚道 | |
| 小出 達也 | 瀧川 迪子 | 福澤 嘉孝 | 和久井 良輔 | |
| 小林 秀樹 | 武井 恵美 | 福島 ゆき | | |

(11月5日現在／五十音順、敬称略)
お名前に誤りがございましたら、お手数ですが事務局までご連絡ください。

■ プレミアム定期会員の皆様

| | | |
|--------|-------|------------------|
| 秋山 賢一 | 小菅 實 | 真中 佑子 |
| 天野 善教 | 後藤 健一 | 村上 雅章 |
| 安藤 智昭 | 佐藤 一彦 | 湯浅 強 |
| 五十嵐 博之 | 沢田 典広 | 良知 賀津也 |
| 井上 みゆき | 十川 雅彦 | 渡辺 和也 |
| 大江 淳良 | 竹中 茂夫 | 渡邊 元一郎 |
| 鬼塚 秀彦 | 千葉 尚邦 | H.Tomono & Kimie |
| 織地 俊幸 | 築山 量一 | T.H. & S.H. |
| 唐錦 直哉 | 中野 弘一 | T.Y. |
| 菊池 千明 | 根本 直之 | 匿名50名 |
| 木下 徹 | 平田 敬一 | |
| 久芳 征一郎 | 星 和好 | |
| 栗原 裕子 | 本間 昌智 | |
| 小池 真一 | マエストロ | |

東京シティ・フィル
FMラジオ番組

東京シティ・フィルの“らじおけ。”が
2020年7月1日より22:30～23:00(毎週水曜)にリニューアル!



江東区のラジオ局「レインボータウンFM」(88.5MHz)にて放送している弊団FMラジオ番組《東京シティ・フィルの“らじおけ。”》の放送時間が7月1日より変更となりました。ファゴット首席奏者 皆神陽太、ヴァイオリン奏者 吉武由夏の2人のメインパーソナリティによる楽しいトークをお届けいたします! 皆様からのご質問やメッセージをお待ちしております!

●放送日時:毎週水曜日22:30～23:00 レインボータウンFM:<http://885fm.jp>

※江東区外でお聴きになる場合は、ラジオアプリをご利用ください。

「Listen Radio」(<http://listenradio.jp/>)

♪当番組では、皆さまからのご質問・メッセージを受け付けています!

メールアドレス:radioke@cityphil.jp

Twitter:[#らじおけ]をつけて投稿してください。

アプリダウンロードは
こちら!



次回の定期演奏会

NEXT CONCERT

第339回

2021

1/29

金 7:00pm

指揮：飯守 泰次郎（桂冠名誉指揮者） ピアノ：亀井 聖矢

モーツアルト／歌劇「劇場支配人」K.486より序曲

ショパン／ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 作品11

チャイコフスキー／交響曲第5番 ホ短調 作品64



©山田 翔

本日は、ご来場いただきまして誠にありがとうございます。オータムシーズン最後の本公演はいかがでしたでしょうか。

次回の第339回定期演奏会は、場所をサントリーホールに移して開催いたします。ウィンターシーズン最初となる本公演では、桂冠名誉指揮者 飯守泰次郎による名曲プログラムでお贈りいたします。ソリストには、2019年ビティナ特級グランプリ、そして日本音楽コンクール第1位の今もっとも注目されている若手実力派ピアニストの亀井聖矢氏を迎え、ショパン「ピアノ協奏曲第1番」を披露していただきます。

メインプログラムには、チャイコフスキー「交響曲第5番」をお楽しみいただけます。聴きどころ満載の本公演、どうぞご期待ください！

樂聖ベートーヴェン爆誕250年を祝うスペシャルコンサート

青島広志の 「なほどザ・クラシック音樂 ベートーヴェン全交響曲ハイライト

オールベートーヴェン
プログラム

交響曲第1番より、交響曲第2番より
交響曲第3番「英雄」第1楽章
交響曲第4番より
交響曲第5番「運命」第1、4楽章
交響曲第6番「田園」第1楽章
交響曲第7番より、交響曲第8番より
交響曲第9番より

指揮＆お話：青島広志

管弦楽：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

©GAKKEN

2020 11/14 土 14:00開演(13:00開場)

東京オペラシティコンサートホール

全席指定 ¥4,950

*※4歳以上入場可。曲目は変更になる場合がございます。

主催：一般社団法人 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 合同会社シャイン・シンフォニー
お問合せ：東京シティ・フィル チケットサービス(月・水・金 10:00~15:00) 03-5624-4002



プレイガイド 東京シティ・フィルチケットサービス

03-5624-4002 (月・水・金 10:00~15:00)

オンライン予約 <https://www.cityphil.jp/>

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 188-354)

e+(イープラス) <http://eplus.jp/sys/main.jsp>

ローソンチケット 0570-000-407(Lコード: 32234)

東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

今回のコロナ禍に際し、多くの皆様がその活動において困難な状況におかれ
てる中、私ども一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団は
公益社団法人 日本オーケストラ連盟加盟団体の一員として三井住友ファイナン
シャルグループ、三菱UFJファイナンシャル・グループより多額のご寄付をいただ
きました。心より御礼を申し上げます。

この度の危機を乗り越え、未来に向けてオーケストラの音楽を皆様に提供
し続け、真に豊かな社会を築くことに貢献できるよう、今後の活動に励んで
まいります。

一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団



6月26日の定期公演より活動を再開することができました。
今後も新型コロナウィルス感染症対策を徹底し、皆さんに音楽を届けてまいります。

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団をご支援ください

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、今もなお感染症拡大防止の観点から、プログラムの変更や規模を縮小しての開催を余儀なくされております。そのため、弊団の活動の維持と発展にご協力を賜りたく、以下の2つの方法を設けております。

いただいた募金・ご寄附は全額弊団の運営費として活用させていただきます。皆様の温かいご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

■東京シティ・フィル応援募金

- お申込み チケット予約・購入システム『Gettii』よりお申込みいただけます。

※ご利用には無料のオンラインチケット会員登録が必要となります。

チケット予約・購入システム
『Gettii』



- 募金 1口 1,000円

※お一人様何口でもお申込みいただけます。

※決済方法は現状クレジットカードのみでございます。

後日、お申込みのご住所に「領収書」をご送付いたします。

■東京シティ・フィル銀行振込によるご寄附

- お申込み 弊団へのご寄附をいただけます際には、下記の口座にお振込みいただけましたら幸いです。

| 金融機関・支店名(支店番号) | 預金種別・口座番号 | 口座名義 |
|------------------|--------------|-------------------------------|
| みずほ銀行 錦糸町支店(322) | 普通預金 3039161 | 一般社団法人 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 |

- ご寄附金額 ご寄附の金額はご自由に設定いただけます。

※振込手数料、通信費は恐れ入りますがご負担くださいますようお願い申し上げます。

※領収証書が必要な方は、恐れ入りますが東京シティ・フィル公式ホームページの「お問い合わせフォーム」(※右記二次元コードよりアクセス可)または東京シティ・フィル チケットサービス03-5624-4002(平日の月・水・金10:00~15:00)までお問い合わせください。



■ 税制上の控除について

誠に恐れ入りますが、弊団が一般社団法人でございます都合上、いただきました募金・ご寄附は税金等の控除対象とはなりませんことをどうかご了承ください。

なお、東京シティ・フィルには継続的なご寄附の制度として維持・贊助会(P.18参照)がございます。特典内容など含めて詳細をご覧くださいますよう、お願い申し上げます。



©金子力

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

Tokyo City Philharmonic Orchestra

1975年4月、自主運営のオーケストラとして指揮者・堤俊作を中心に若く才能ある演奏家たちによって設立。同年ベオグラード音楽祭開幕演奏会を含むヨーロッパ公演、香港・マカオ公演を成功させ、プロ・オーケストラとしての軌道を築く。

年間100回を超える公演は、定期演奏会および特別演奏会だけでなく、オペラ、バレエ公演やポップスコンサート、映画音楽、テレビ出演、CD録音、音楽鑑賞教室まで多岐にわたる。特にテレビにおいては、テレビ朝日『題名のない音楽会』を通じてその新鮮な魅力溢れる演奏を披露し、日本全国で好評を博している。

1997年9月、ドイツ音楽、特にワーグナー指揮者として名高い飯守泰次郎が常任指揮者に就任。2000年9月から4年がかりで展開した「東京シティ・フィル オーケストラ・オペラ『ニーベルングの指環』」全4部作上演(高島勲演出・構成)では、飯守&東京シティ・フィルの創り出す高水準のワーグナー音楽が各方面から大きな反響を巻き起こすと共に、常に高い評価を得ることに成功。続く『ローエングリン』、『パルジファル』、『トリスタンとイゾルデ』でも高水準の音楽と舞台が評価され、2005年、『ローエングリン』で三菱信託音楽賞奨励賞を受賞した。

2002年4月にはフランス音楽に造詣の深いパリ在住の指揮者・矢崎彦太郎が首席客演指揮者に就任。フランス音楽の世界を幅広く系統立て網羅した「フランス音楽の彩と翳」と題する画期的なシリーズにより、日本の楽壇に広める

役割を果たした。そして海外公演にも積極的に取り組み、2003年2月シンガポール、2004年4月ロサンゼルス・サンフランシスコ、2005年9月パリ・ランス、2007年12月バンコク、2008年6月ジャカルタ、2011年釜山の各都市を訪問。音楽を通じての各国相互交流事業の一翼を担ってきた。

また地域コミュニティでの活動も積極的に展開。1994年から東京都江東区と芸術提携を結び、ティアラこうとうを主な拠点としてティアラこうとう定期演奏会をはじめとする各種コンサートや公開リハーサル、ファンと楽員との交流会、楽器の公開レッスン、音楽鑑賞教室、区内小学校へのアウトリーチ活動など、地域に根ざした音楽文化の振興を目的に幅広い活動を行っている。

2012年4月、宮本文昭が初代音楽監督に就任。シーズン毎に「完全燃焼」「飛翔」「発!」のテーマを掲げ、オーケストラに新風を吹き込んだ。2015年4月、楽団創立40周年を迎、第4代常任指揮者に高関健が就任。第300回定期演奏会でのベルリオーズ「ファウストの劫罰」、第50回ティアラこうとう定期演奏会でのオペラ「夕鶴」(演奏会形式)など、オペラ作品も積極的に取り上げ、いずれも好評を博した。2019年3月には「ロシアにおける日本年」の一環としてウラジオストクとサンクトペテルブルクにおいて團伊玖磨のオペラ「夕鶴」を演奏し、日ロ文化交流に大きな役割を果たした。同年4月より藤岡幸夫が首席客演指揮者に就任。これからも活躍が最も期待されているオーケストラである。

| | |
|---------------|---------------|
| 常任指揮者 | 高関 健 |
| 首席客演指揮者 | 藤岡 幸夫 |
| 桂冠名誉指揮者 | 飯守泰次郎 |
| 永久芸術顧問 | 芥川也寸志 黛 敏郎 |
| 永久名誉指揮者 | 森 正 |
| 永久桂冠指揮者 | 堤 俊作 |
| コンサートマスター | 戸澤 哲夫 |
| 特別客演コンサートマスター | 荒井 英治 |

| | |
|----------|--|
| 第1ヴァイオリン | □粟津 梓 安藤 貴子 木村 典子 黒川 史恵 古賀 恵 高宮城 凌 照沼 愛子 野尻弥史矢 藤野 郁子 前島 純子 吉武 由夏 |
| 第2ヴァイオリン | 桜井 春栄 清水 敦 中津留果己 浜田 慶子 松坂 明子 盛川 奈々 吉田 巧 |
| ヴィオラ | ◎臼木 麻弥 落合 なづき 柏谷 和 佐藤 裕子 佐藤 良輔 三瓶 麻子 *山田 真子 |

◎印 首席奏者 ◇印 客員首席奏者
 ○印 副首席奏者 □印 フォアシユピーラー
 *印 嘴託団員 ※印 海外研修中 ▲印 休団中

| | | | |
|-------------|---|--|--|
| チエロ | ◎長明 康郎 ◇大友 肇 □香月 圭佑 阿相 道広 鈴木 龍一 西牧佳奈子 畠野 誠司 | ライブラリアン 永久名誉団員 名誉団友 | 堀内 英子 常盤 俊雄 中村明紀子 弘中 秀 山崎 道雄 |
| コントラバス | ◎山崎 実 瀬野 恒 蓮池 仁 宮田 周介 | 市川 清士 伊藤 裕悦 海治 洋一 江里口敦子 児玉統史子 小林 賢次 佐藤 昌樹 猿田 博 島田 俊雄 玉井 俊明 中村 治子 庭野 隆之 東 育雄 村上 信晴 | 市川 清士 伊藤 裕悦 海治 洋一 江里口敦子 児玉統史子 小林 賢次 佐藤 昌樹 猿田 博 島田 俊雄 玉井 俊明 中村 治子 庭野 隆之 東 育雄 村上 信晴 |
| フルート | ◎竹山 愛 | 樂団長 | 志田 明子 |
| オーボエ | ◎本多 啓佑 高橋 舞 | 運営委員 | 佐藤 裕子 野尻弥史矢 蓮池 仁 皆神 陽太 |
| クラリネット | ◎山口 真由 ○須東 裕基 | 事務局員 | 熊野 良子 西條 隆弘 新藤 穀 友近 祐未 星野 繁太 松本仁衣菜 吉原 夏美 渡邊 智子 |
| ファゴット | ◎皆神 陽太 ○石井野乃香 鈴木 明博 | 相談役 | 篠宮 良幸 |
| ホルン | 荒木 政隆 小林 祐治 谷 あかね 村本 岳史 | 監事 | 山崎 昭生 |
| トランペット | ◎松木 亜希 平木 仁 | 顧問弁護士 | 清水 勉 |
| トロンボーン | ◎佐藤 洋樹 ○藤田麻里奈 | 顧問税理士 | 村田 富子 |
| ティューバ | 横田 和宏 | | |
| 打楽器 | 黒川 正宏 松本 祐二 | | |
| 指揮研究員 | 松川 智哉 | | |
| ステージ・マネージャー | 土屋 秀仁 | | |
| ステージ・スタッフ | 影山 智章 金子 覚 渡邊 温子 | | |

発行日:2020年11月13日

発行人:志田 明子

発行所:一般社団法人 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 〒135-0002 東京都江東区住吉一丁目19番1-203号

Tel:03-5624-4001 Fax:03-5624-4114 E-mail:mail@cityphil.jp https://www.cityphil.jp/

デザイン・印刷:株式会社 デザイン・グリッド

許可なき複製、転載は固くお断りいたします。 All Rights Reserved. Copyright ©Tokyo City Philharmonic Orchestra 2020(非売品)

TCHAIKOVSKY
THE COMPLETE
SYMPHONIES TAIJIRO IIMORI
4 TOKYO CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA



1997年の常任指揮者就任以来、古典派からロマン派にかけてのレパートリーを根幹に、意欲的な活動で常に注目を集めた飯守／東京シティ・フィル。「指環」四部作を始めとするワーグナーの主要作品上演、そして2000および2010/11のシーズンには、2種の異なる版による〈ベートーヴェン・ツィクルス〉を敢行。演奏史に偉大なモニュメントを建立しました。

本CD収録の演奏は、飯守が東京シティ・フィルの常任指揮者としての最後のシーズンにおこなった〈チャイコフスキーアーチュर曲全集シリーズ〉のライヴ録音です。その演奏は、甘美な旋律、華麗なオーケストレーション、卓抜なリズムといった表面的な『チャイコフスキーアーチュア』の深奥に在るロシア的な本質に深く迫ります。

長年の功績により、平成24年度文化功労者に選ばれた飯守泰次郎。東京シティ・フィルと共に歩んだ15年の集大成ともいえる名盤がここに誕生しました。

飯守泰次郎 指揮
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

TCHAIKOVSKY THE COMPLETE SYMPHONIES

チャイコフスキーアーチュア曲全集

FOCD6030/4(5CD) 定価 ¥5,250(税込)

2011年6月-2012年3月 東京オペラシティ／ティアラこうとうでのライヴ録音

Disc 1 交響曲 第1番ト短調 作品13「冬日の幻想」

Disc 2 交響曲 第2番ハ短調 作品17「小ロシア」

交響曲 第3番ニ長調 作品29「ポーランド」

Disc 3 交響曲 第4番ヘ短調 作品36

Disc 4 交響曲 第5番ホ短調 作品64

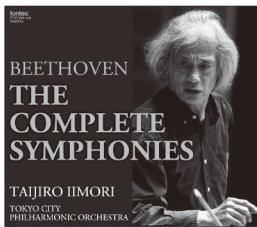
Disc 5 交響曲 第6番ロ短調 作品74「悲愴」

助成：公益財團法人 ロームミュージックファンデーション 協賛：ローム株式会社

ロームミュージックファンデーションは、日本のプロ・オーケストラの活動を支援しています。

発売中

飯守泰次郎 指揮 東京シティ・フィルのCD



ベートーヴェン 交響曲全集

(マルケヴィチ版に基づく)

FOCD6014/8(5CD) ¥5,250(税込)

助成：公益財團法人 ロームミュージックファンデーション

協賛：ローム株式会社

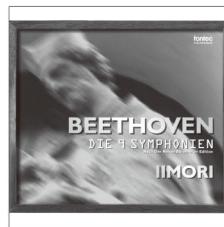


R.シュトラウス 交響詩「英雄の生涯」作品40

ゴルトシュミット

交響的シャコンヌ

FOCD9465 ¥2,500(税込)



ベートーヴェン 交響曲全集

(新ベーレンライター版に基づく)

FOCD9438/42(5CD) ¥4,200(税込)

助成：公益財團法人 ロームミュージックファンデーション

協賛：ローム株式会社

マーラー 交響曲 第9番 FOCD9449/50(2CD) ¥3,150(税込)

ブルックナー 交響曲 第6番／シューマン 交響曲 第4番 FOCD9211/2(2CD) ¥3,059(税込)

ブルックナー 交響曲 第3番 FOCD9149 ¥2,835(税込)

ドヴォルジャーク 交響曲 第8番 FOCD9143 ¥2,835(税込)

ブルックナー 交響曲 第7番 FOCD9133 ¥2,835(税込)

モーツアルト 交響曲 第35番・第38番&第41番 FOCD9131 ¥2,835(税込)

ブルックナー 交響曲 第4番「ロマンティック」 FOCD9130 ¥2,835(税込)